

入場無料
定員120名

令和元年度 防災非常通信 セミナー

豪雨災害時のICTを
利活用した最新の
取り組みについて

近年、関東地方でも度重なる台風襲来や多発するゲリラ豪雨等による風水害に見舞われるようになりました。これまで想定した被害予測に比べ被害実態は広範囲かつ甚大で、対策の見直しが求められています。そこで、豪雨災害対策の最新研究やICT利活用事例をご紹介します。防災意識の変革や地域防災力の向上を目的に本セミナーを開催します。

「度重なる台風被害！
本気で考える
今後の豪雨災害」

日時

令和2年2月19日(水) 13:30~16:20

場所

九段第3合同庁舎11階共用会議室
(東京都千代田区九段南1-2-1)

主催

総務省関東総合通信局、関東地方非常通信協議会



専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください

講演(敬称略)

基調講演



東京都危機管理監 小林 茂

プロフィール

昭和35年11月8日生まれ(59歳)。宮城県出身。昭和58年防衛大学校を卒業後、陸上自衛隊に入隊。第3師団長や第8代中央即応集団司令官、初代陸上総隊司令等の要職を経て、平成30年8月に退官する。同年10月から東京都危機管理監を務め、東京都の防災危機管理に従事し、現在に至る。

事例発表 1



国立研究開発法人情報通信研究機構
電磁波研究所リモートセンシング研究室 室長 中川 勝広

プロフィール

大学院博士課程修了後、1998年郵政省通信総合研究所(現 情報通信研究機構)に入所。2006年から2年間、米国防空宇宙局(NASA)ゴダード宇宙飛行センター(客員研究員)。2017年1月から内閣府(科学技術・イノベーション担当)出向。2017年12月より現職。マイクロ波リモートセンシングの研究として、沖縄偏波降雨レーダ、衛星搭載二周波降水レーダ、フェーズドアレイ気象レーダの研究開発に従事。博士(工学)。

事例発表 2



AI防災協議会 常務理事、
国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター長 白田 裕一郎

プロフィール

長野県出身、慶應義塾大学環境情報学部卒、同大学院政策・メディア研究科修了、博士(政策・メディア)。防災情報を専門に、基盤的防災情報流通ネットワーク(SIP4D)の開発、内閣府災害時情報集約支援チーム(ISUT)の設置・運用に寄与。令和元年6月に民間企業等とAI防災協議会を立ち上げ、常務理事を務める。

お申し込みは裏面をご覧ください。

令和元年度

防災非常通信セミナー

講演プログラム

(敬称略)

13:30 開会挨拶

関東総合通信局 局長、関東地方非常通信協議会 会長 古市裕久

13:35

基調講演

「東京都における集中豪雨等大規模災害に対する
最新の取り組み」

東京都 危機管理監 小林 茂

14:20

事例発表1

「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ等を
活用した豪雨災害対策の研究事例」

情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室 室長 中川勝広

15:15

事例発表2

「台風や豪雨災害時における
AI、SNS等を活用した情報共有」

AI防災協議会 常務理事、防災科学技術研究所 総合防災情報センター長 臼田裕一郎

16:15 閉会挨拶

関東総合通信局 無線通信部 部長、関東地方非常通信協議会 副会長 星野哲雄

申込方法(申込期限:2月17日)

FAX でのお申し込み (複数名の申し込みが可能)

必要事項をご記入の上、こちらにご送信ください。

関東総合通信局陸上第二課

FAX:03-6238-1769

氏名 1	氏名 2
所属(会社名、団体名及び所属部署)	
E-mail	TEL

E-mail でのお申し込み

必要事項を記載の上、以下までお送りください。

kanto-hijyokyo@soumu.go.jp

[宛先] 関東総合通信局陸上第二課

件名:「防災非常通信セミナーの聴講申込」

本文: (1)氏名

(2)所属(会社名、団体名及び所属部署)

(3)連絡先(電話番号)

個人情報の取り扱い:皆さまからいただいた個人情報は、受付業務や連絡等、セミナーの開催運営に関する場合のみ使用し、個人情報保護法に基づき適正に管理します。

問い合わせ先



関東総合通信局陸上第二課

TEL:03-6238-1776

E-mail:kanto-hijyokyo@soumu.go.jp